

粟崎、川北、大浦 校下(地区)

ともに考えよう まちづくりミーティング

平成29年10月22日(日) 14時00分から
於 金沢市ものづくり会館 2階 研修室

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

～ 開会前、市政紹介動画の放映 ～

金沢市公式プロモーションムービー
「カラーセオリーフォーカナザワ」
「金沢を味わう、映像で」
「地元プロスポーツチーム応援動画」

今回放映しました市政紹介動画は、
金沢市のHP「いいね金沢」で
ご覧になれます。

- (1) 市長あいさつ
- (2) 地域代表あいさつ
- (3) 進行の説明等
- (4) 地域課題の発表
- (5) 地域課題に対する市の方針等の説明
- (6) 地域課題について討議
- (7) 共通課題について討議
- (8) 市長まとめ など

※ 恐れ入りますが、アンケートにご協力ください。
お帰りの際に、用紙をアンケート箱にお入れください。

金沢市広報広聴課 TEL 220-2348 FAX 220-2030

平成29年度第4回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	粟崎校下町会連合会
地域課題	地域の防災力向上のための地域コミュニティ活性化について
課題の内容	<p>地域コミュニティは、防災、防犯、防火など、生活の基盤となる大切なものである。しかし、少子高齢化や核家族化などの進展に伴う、住民のライフスタイルや価値観の多様化により、地域における人と人とのつながりは希薄化し、地域コミュニティが衰退してきているように感じている。</p> <p>こうした中で、大きな災害が発生した場合に、適切な避難が行われ、また、住民自身による救助活動や消火活動等が上手く機能するか、危惧を持っている。</p> <p>地域においては、防災訓練の開催などを通し、住民同士のふれあいを促進し、地域コミュニティの活性化を図っているが、訓練への参加率は低く、多くの住民は地域活動自体への関心が低い。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	地域の防災力をはじめ、防犯・防火などに関する対応力を向上させるために、地域コミュニティを活性化させていきたい。
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>粟崎校下では、大きな災害の発生もないため、地域住民の防災意識は比較的低い傾向にあり、住民に防災訓練に参加しない理由を聞くと「災害は起きないから」、「自分は大丈夫だから」、「いつも同じだから」という回答が多い。</p> <p>今後も、防災訓練の開催などを通し、地域コミュニティの活性化を図っていきたくので、防災訓練のバリエーションを増やすなど、防災訓練の参加率の向上に取り組むたい。防災訓練の開催にあたっては、市からの更なる支援、助言をお願いしたい。</p>

提出課題についての市の方針等 1

地域課題	地域の防災力向上のための地域コミュニティ活性化について
提案・提言等	<p>防災訓練の開催などを通し、地域コミュニティの活性化を図っていききたいので、防災訓練の参加率の向上に取り組みたい。防災訓練の開催にあたっては、市からの更なる支援、助言をお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>防災の基本は、自助・共助・公助であり、特に災害時には地域で助け合う「共助」の力が重要である。金沢市では地域防災力の向上を図るため、防災出前講座や市民防災訓練等を実施するほか、コミュニティ防災士の育成を行っている。</p> <p>人々のライフスタイルや価値観の多様化により、地域活動への関心が希薄化する中で、地域の防災訓練の参加率を高めていくためには、地域の現状を熟知したコミュニティ防災士が地域の防災リーダーとして、多くの人々が興味を持つよう啓発活動を行い、地域の現状に応じた防災訓練を実施、企画することが効果的であると考えている。</p> <p>コミュニティ防災士の方に対しては、スキルアップ研修会を開催し、防災士としての知識や技能の向上を図るとともに、さらに高度な知識・技術の取得や他地区の防災士との情報交換のための交流研修会を実施している。</p> <p>コミュニティ防災士の方には、これらの研修会等を通じて得た知識を地域の特性に応じた地区別防災計画の策定や防災訓練等にフィードバックし、防災士の交流等を通じて広域的な防災活動を展開する等、より実効性のある防災活動につなげていただくことを期待している。</p> <p>本市としては、今後も地域コミュニティを大切にしたい。地域発の自発的な活動を支援するとともに、自主防災組織の活動に必要な防災資機材の整備に対して補助を行う等、市民との協働により、災害に強いまちづくりを積極的に支援してまいりたい。</p>
担当課	危機管理課 電話 220-2366

提出課題一覧表 2

町会連合会名	川北地区町会連合会
地域課題	水害対策について
課題の内容	<p>川北地区は、浅野川、金腐川、大宮川に隣接する比較的海抜が低い地域であり、当地区の一部では、道路や田畑の冠水が度々発生するなど、市内でも水害の恐れのある地域のひとつである。</p> <p>また、市街化調整区域でもあり、直ちに避難できる大きな建物も限られている上に、指定避難場所は浅野川に隣接する松寺公民館（鉄骨、2階建）であり、他都市における大規模水害の様子をテレビ等で見ていると非常に心許ない状況である。</p> <p>大規模水害発生時には、地域全体に大きな被害が発生することが予想されることから、治水対策は、地域の喫緊の課題となっている。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>局地的豪雨が頻発するなど、大規模水害の発生可能性が高まる中、川北地区における治水対策は、地域の喫緊の課題であり、総合的な治水対策を検討したい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域においては、水害発生時に地域で活動してくれるコミュニティ防災士を各町会（8町会）に1名ずつ確保することを目標として、地域の防災力向上に取り組んでおり、各種訓練を実施しているところである。</p> <p>市においては、河川改修の基準等の見直しを行い、最近頻発する何十年に一度と言われる局地的豪雨にも対応できるようなハード整備の推進をお願いしたい。</p>

提出課題についての市の方針等 2

地域課題	水害対策について
提案・提言等	<p>地域においては、水害発生時に地域で活動してくれるコミュニティ防災士を各町会（8町会）に1名ずつ確保することを目標として、地域の防災力向上に取り組んでおり、各種訓練を実施しているところである。</p> <p>河川改修の基準等の見直しを行い、最近頻発する何十年に一度と言われる局地的豪雨にも対応できるようなハード整備の推進をお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>ご指摘の何十年に一度の確率への河川改修基準の見直しについては、既に改修を終えた区間の再整備が必要となる等、膨大な期間と費用を要することとなり、現実的ではないことから、まずは現目標での着実な整備を進めていきたいと考えている。</p> <p>本市では、この地区を優先的に浸水対策を行うべき地区として、現在、河川事業費を重点的に投入して大宮川（Ⅱ期区間）の改修促進に努めており、加えて、これを補完するため、大浦町地内において取得済み用地を活用した暫定調整池を設置するほか、松寺町地内で浚渫や護岸改修工事、暫定ポンプの設置を進めているところである。</p> <p>これらの治水対策を進める一方で、減災・水防対策などソフト面を含めた総合的な取り組みが大切であると考えており、当地区を重点パトロール地区に位置づけ、大雨時には、監視カメラで河川水位を確認し、早めの巡回パトロールや土嚢等必要な水防資機材の迅速な配備に努めているところである。</p> <p>併せて、「水防出前講座」や「かがやき発信講座」を開催し、住民の皆様と協働で積極的に浸水対策に取り組んでまいりたいと考えている。</p>
担当課	内水整備課 電話 220-2341

提出課題一覧表 3

町会連合会名	大浦校下町会連合会
地域課題	校下の文教ゾーンにおける歩行者の安全確保について
課題の内容	<p>昭和46年に、大浦保育園に間借りする形でスタートした大浦公民館は、これまで移転・改築を検討してきましたが、なかなか実現にいたらず、ここ数年間は、仮設プレハブ事務所で運営してまいりました。ここに至り、ようやく我々の長年の悲願であった大浦公民館が完成しました。市をはじめ、関係者の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>その結果、大浦小学校を中心に、キッズスクールオオウラ、そして、公民館が集約されることとなり、この地区には、子どもから高齢者まで、多くの住民が集まることとなります。</p> <p>しかし、大浦小学校とキッズスクールオオウラ間の道路は歩道がなく、一般車両のほか、農繁期には大型農耕車両が頻繁に通行しており、多くの周辺住民から、子ども達を含む歩行者に対する事故が心配されている状況であります。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	校下文教ゾーン周辺の道路・水路の安全性向上及び歩行者の安全を確保するための方策について
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域では、大浦小学校周辺道路に、こども見守りボランティアの皆様に尽力いただき、重大事故を未然に防いでいただいておりますが、さらなる安全確保のためには、市によるハード面の整備が重要であると考えています。</p> <p>ハード面の整備としては、まずは、歩道の整備、車両運転者への注意喚起を促す看板設置等、必要な施策の速やかな実施をお願いしたい。</p>

提出課題についての市の方針等 3

地域課題	校下の文教ゾーンにおける歩行者の安全確保について
提案・提言等	<p>地域では、大浦小学校周辺道路に、こども見守りボランティアの皆様にご尽力いただき、重大事故を未然に防いでいただいておりますが、さらなる安全確保のためには、市によるハード面の整備が重要であると考えています。</p> <p>ハード面の整備としては、まずは、歩道の整備、車両運転者への注意喚起を促す看板設置等、必要な施策の速やかな実施をお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>これまで、大浦小学校周辺においては、交通量や通学路として指定を受けていることを勘案して、1級幹線72号大浦・木越線を拡幅整備したほか、ご要望の川北9号大浦町北線26号では、既にV S側溝を設置することで一定の幅員を確保したところである。</p> <p>この道路は、維持管理上、開渠を原則とする排水路に隣接していることから、その排水路の暗渠化による大規模な拡幅整備は、交通量等を勘案すると困難であると考えておりますが、現状の道路空間の中で、路面標示や看板設置などにより、歩行空間の確保やドライバーへ速度抑制等の注意喚起を促す対応について、可能なものから順次実施してまいりたい。</p>
担当課	道路建設課 電話 220-2316 道路管理課 電話 220-2321

提出課題一覧表 4

町会連合会名	粟崎校下町会連合会
共通課題	地域住民の防災意識の向上
意見、質問の内容	<p>近年、局地的な豪雨や、地震などの自然現象による大規模な災害が頻発する中、金沢市においても、いつ大規模な災害が発生してもおかしくない状況であると考えている。</p> <p>三校下（地区）においては、大浦校下及び川北地区は、複数の河川と隣接しており、大規模水害のリスクが高いこと、また、粟崎校下は、隣接する石油ターミナルやガスタンクの地震等による損壊に伴う大規模災害発生リスクが高いことが課題となっている。</p> <p>こうした災害に備え、地域においては、自主防災組織を中心として、各種防災訓練を実施している。しかし、防災訓練に参加している人は、昔からその土地に住む高齢者が大半を占め、同じ人ばかりが参加している傾向があり、その人達の防災意識は高い。一方、若い世代や新興住宅地に住む人などは、防災訓練への参加率が低く、防災活動に関心が少ない傾向にある。</p> <p>防災活動に関心が少ない人達の防災意識を向上させるためには、地域の学校に通う子どもに対して、防災教育を行うことが効果的ではないかと考えている。</p> <p>子どもの防災意識が高まれば、波及的にその親、家族を含めた広い世代の防災意識の向上につながるとともに、地域で成長した子どもが地域防災の担い手になってくれる可能性もある。</p> <p>地域においては、小・中学生が防災活動に参加しやすい環境づくりを行い、市においては、防災教育の更なる推進及び地域防災活動への積極的な参加を呼びかけていただきたい。</p>

提出課題についての市の方針等 4

共通課題	地域住民の防災意識の向上
意見・質問等	<p>地域においては、小・中学校が防災活動に参加しやすい環境づくりを行い、市においては、防災教育の更なる推進及び地域防災活動への積極的な参加を呼びかけていただきたい。</p>
市の方針等	<p>各学校では、年間複数回実施する避難訓練（小：年8回、中：年3回程度）等をとおして、防災教育を実施している。その他、土日を積極的に活用した、災害時における児童生徒の引き渡し訓練、地震・津波等を想定した合同避難訓練、防災に関する授業参観等を実施している。これらの取組をとおして、児童生徒が災害に対して自ら適切に判断・行動できる力（自助力）や自ら進んで他の人々を助ける力（共助力）・態度の育成を目指している。</p> <p>また、栗崎小学校においては、平成24年度より石川県教育委員会から「実践的防災教育総合支援事業」の指定を受け、全校をあげ、防災に対する意識の向上を図るとともに、その成果を広く小中学校に発信してもらった。</p> <p>地域の防災活動に児童生徒が参加することも大切な機会であると捉えており、是非、学校に協力依頼してほしい。教育委員会も、校長会議等を通じて、協力するよう働きかけていきたい。</p>
担当課	学校指導課 電話 220-2436